

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ】

第 1 問 (配点 24 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	自己資本比率	35.59 ( % )
②	売上高営業利益率	1.20 ( % )
③	有形固定資産回転率	17.08 ( 回 )

(設問 2)

払込資本の多さに優れている一方で、有形固定資産と営業費用に見合う売上を獲得していかくことが課題である。
---

第 2 問 (配点 31 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	3.30 %	$1\% \times (1 - 0.3) \times 324 / 503 + 8\% \times 179 / 503 = 3.297... \div 3.30 (\%)$
②	6.27 百万円	$CF \div 0.033 = 190$ $CF = 190 \times 0.033$ $CF = 6.27$ (百万円)

(設問 2)

(a)	3.8 百万円	(b)	$(400 - 395 - 1) \times (1 - 0.3) + 1 = 3.8$ (百万円)
(c)	CF が 3.8 百万円増加したものの、増加した資産に対して要求される CF 6.27 百万円を満たしてはいないため、企業価値の向上につながらない。		

(設問 3)

(a)	(b)
1.27 %	$\{3.8 \times (1 + g)\} \div (0.033 - g) = 190$ $\{3.8 \times (1 + g)\} = 190 \times (0.033 - g)$ $193.8g = 2.47$ $g = 0.01274... \div 1.27 (\%)$

第3問 (配点 30 点)

(設問1)

	(a)	(b)
①	73.30 %	$(782 \times 1.07 + 232 + 33) \div 1,503 \times 100$ $= 73.302... \div 73.30 (\%)$
②	76 百万円	売上高: $1,503 + 550 = 2,053$ 変動費: $2,053 \times 0.7330 = 1504.849 \div 1,505$ 固定費: $438 + 34 = 472$ 営業利益: $2,053 - 1,505 - 472 = 76$ (百万円)

(設問2)

固	定	資	産	へ	の	投	資	規	模	は	小	さ	い	。	費	用	構	造	は
固	定	費	の	増	加	は	少	な	く	、	変	動	費	の	増	加	は	多	い
た	め	、	開	設	に	よ	り	固	定	費	の	割	合	は	低	く	な	る	。

(設問3)

開	設	に	よ	り	売	上	・	利	益	と	も	に	増	加	す	る	が	、	開
設	に	よ	る	費	用	構	造	の	変	化	に	よ	り	、	売	上	の	増	加
率	に	対	す	る	利	益	の	増	加	率	は	遞	減	し	て	い	く	。	

第4問 (配点 15 点)

個	人	事	業	主	等	の	確	保	や	サ	ー	ビ	ス	水	準	の	維	持	が
で	き	な	い	場	合	に	悪	影	響	を	及	ぼ	す	可	能	性	が	あ	る
方	策	は	、	個	人	事	業	主	等	の	確	保	・	育	成	体	制	を	強
化	す	る	こ	と	で	あ	る	。											